

議会のあり方調査特別委員会 広聴検討分科会 記録

開会年月日	平成28年11月28日
開会時刻	午後 0時59分
閉会時刻	午後 1時20分
出席委員名	◎宿 典泰      ○野崎 隆太      上村 和生      野口 佳子
	黒木騎代春      西山 則夫      浜口 和久      工村 一三
	世古口新吾
	中山 裕司 議長
欠席委員名	—
署名者	—
担当書記	山口 徹
協議案件	1 議会アンケート結果について
	・アンケート結果のまとめ及び周知の方法について
	2 今後の広聴のあり方について
	・議会報告会、意見交換会の実施について
説明者	議会事務局 山口調査係長、中野主事

## 会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、当分科会の検討項目「議会アンケート結果について」と「今後の広聴のあり方について」を議題とし、その協議内容は以下のとおりでした。

## 協議の内容

### 1 議会アンケート結果について

(アンケート結果のまとめ、見せ方について)

・前回 11/7 の検討分科会において、アンケート結果の見せ方について協議し、他市議会の実施例を参考に全ページカラーやグラフの種類など、見やすさに配慮して作成するご意見があり、それを踏まえて冊子イメージ版を作成、調査結果のカラー版、及び問 30 自由記入欄の一覧を資料として準備し、確認、協議を行なった。

→結果として

・アンケート調査結果の冊子については、事務局作成案で概ね了承されたが、再度委員に精読を依頼し、何か気になる点があれば、12月2日までに事務局担当書記へ報告を行い、正副会長と事務局において校正することで、了承された。

・問 30 については、冊子では要旨をまとめた内容の記載に留め、ホームページに自由記入の一覧（誹謗中傷を除き）を掲載することで、了承された。

(アンケート結果の周知方法について)

・前回 11/7 の検討分科会において、市議会だよりとは別に冊子を作成し、各戸配布をする意見があったため、事務局から予算対応については、現行予算内の執行見込み残額から流用により対応可能（カラー20ページ程度：約105万円）、また冊子の配付方法については、広報いせと同時配付（1月15日号）を想定していることを報告した。

→結果として

・アンケート結果の周知方法については、事務局報告のとおり進めることで了承され、印刷部数については、議会報告会等の配布用として約500部見込むこととなった。

### 2 今後の広聴のあり方について

(議会報告会、意見交換会の実施について)

・前回、議会報告会や意見交換会など広聴の手法を検討していくことを確認し、西山委員から成人式の実行委員会の方に一度、話をという提案があり、その件について分科会長から下記のとおり報告があった。

→状況報告

・11月15日に教育委員会（社会教育課）を通じ、実行委員会の方へ正副会長及び事務局担当者でお邪魔し、投げかけをさせていただき12月6日に実施の可否を確認させてもらうことになっているが、感触としては実行委員の皆さん消極的で、実施は極めて厳しい状況。

→今後について

・実行委員会さんとの意見交換会実施が可能かどうかわからないが、本年実施した商工会議所との意見懇談会のように、特定の団体や皇學館大学の学生など、実施へ向けた検討をしていく必要があり、会長から正副の方で一度、皇學館大学（高校）へ相談に行くことを提案され委員全員から一任された。

以上のおり、分科会において協議されたため、市議会アンケート調査結果の報告書について構成作業を進め、市民への広報周知（冊子の各戸配布）を行っていくことを確認、また、意見交換会の実施検討に向け、近日中に皇學館大学へ正副会長と事務局にて出向くことので了承を得、本日の分科会を閉会した。

上記署名する

平成 28 年 11 月 28 日

分科会長